

様式第二号の八（第八条の四の五関係）



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月20日

大分県知事 殿

提出者

住 所 大阪市港区三先1丁目11番18号

氏 名 奥村組土木興業株式会社

取締役社長 奥村安正

電話番号 06(6572)5301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奥村組土木興業株式会社
事業場の所在地	大阪市港区三先1丁目11番18号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	(06) 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 4,888,968万円
③従業員数	894人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ケース1：廃棄物発生→保管→収集→最終処分 ケース2：廃棄物発生→保管→収集→中間処理→再生品 ケース3：廃棄物発生→保管→収集→中間処理→最終処分

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

## 別紙一表2 参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排 出 量	2.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料ロス率の削減。</li> <li>・余剰材の引き取り。</li> <li>・工法改善による産業廃棄物削減。</li> </ul>			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	排 出 量	0.0 t	0.0 t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の取り組みを維持する。</li> </ul>			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がれき類(コンクリート・アスファルト)、木くずは分別するとともに、他の産業廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。</li> </ul>	
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・細やかな分別に努める。</li> <li>・現状の取り組みを維持し、産業廃棄物削減に努める。</li> </ul>		

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## ①現状

木くず	金属くず	コンクリート片	アスファルト片
1100.00 t	0.00 t	598.00 t	535.00 t

## ②計画

木くず	金属くず	コンクリート片	アスファルト片
800.0 t	0.0 t	400.0 t	400.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

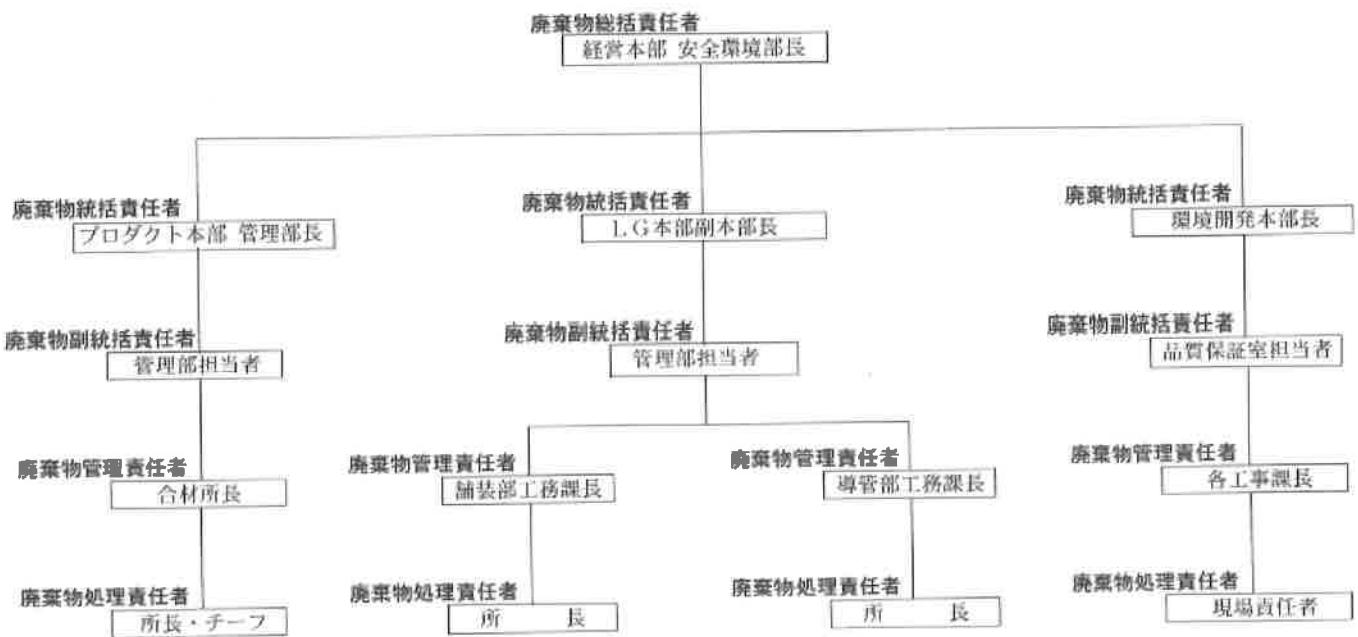
安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	がれき類（下記以外）	建設汚泥
t	t	49.0 t	t

②計画

安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	がれき類（下記以外）	建設汚泥
0.0 t	0.00 t	30.0 t	0.0 t

表2

## 産業廃棄物管理組織表



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

## 【前年度（令和 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト破片	安定型建設系混合廃棄物
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

## 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト破片	
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t

(今後実施する予定の取組)

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

## 【前年度（令和 年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト破片	安定型建設系混合廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

(これまでに実施した取組)

②計画

## 【目標】

産業廃棄物の種類	アスファルト破片		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	t	t

(今後実施する予定の取組)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
	全処理委託量	2.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図った。</li> <li>・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。</li> <li>・再資源化率の高い事業者を選定している。</li> </ul>			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## ①現状

t	t	t	t

## ②計画

t	t	t	t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

木くず	金属くず	コンクリート片	アスファルト片
1100.00 t	0.00 t	598.00 t	535.00 t
t	t	t	t
1100.00 t	0.00 t	598.00 t	535.00 t
t	t	t	t
t	t	t	t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## ①現状

t	t	t	t

## ②計画

t	t	t	t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## ①現状

安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	がれき類（下記以外）	建設汚泥
0.00 t	0.00 t	49.0 t	0.0 t
t	t	t	t
0.00 t	0.00 t	49.0 t	0.0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

【目標】		
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず
全処理委託量	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良認定処理業者を選定する。</li> <li>・委託先処理業者には定期的に実施確認を行う。</li> <li>・現状の取り組みを維持し、産業廃棄物抑制に努める。</li> </ul>		
※事務処理欄		

## ②計画

木くず	金属くず	コンクリート片	アスファルト片
800.0 t	0.0 t	400.0 t	400.0 t
t	t	t	t
800.0 t	0.0 t	400.0 t	400.0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

## ②計画

安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	がれき類（下記以外）	建設汚泥
0.0 t	0.0 t	30.0 t	0.0 t
t	t	t	t
0.0 t	0.0 t	30.0 t	0.0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 【令 和 4 年 度】 実 績

産業廃棄物の種類		計画の実施状況								
コード	名称	①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t)
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理を行った量	④の量から⑤の量を差し引いた量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
10600	①廃プラスチック									
20710	②紙くず									
30810	③木くず									
41200	④金属くず									
51501	⑤コンクリート破片	402								
61502	⑥アスファルト破片		10,638							
72010	⑦安定型建設系混合廃棄物		7							
82020	⑧管理型建設系混合廃棄物		125							
91500	⑨がれき類(下記以外)		791							
100221	⑩建設汚泥		4,092							
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
合計			16,055							

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市港区三先1丁目11番18号	奥村組土木興業株式会社	安全環境部 安全課	奥村 安勝	06(6572)5261	06(6575)0752	Yasukatsu.oito@okoshi-group.co.jp

直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量(t)	(⑩=①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑨)=⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)					②+⑧ 自ら埋立処分又は 搬送、 投人処分を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は 搬送、 投人処分を行った量(t)
	委託先による区分		⑪熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑫その他の中間処 理 委託量(t)	⑬埋立処分委託量(t) への処理委託量(t)		
間処理及び最終処 を委託した量	⑩の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑪、⑫除く)	⑪の量のうち、認定熱回収施 設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者以 外の熱回収を行っている処理業者への焼 却処理委託量	⑬の量のうち、委託 して破砕等の中間 処理した量(⑪～⑭ を除く)	⑭の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑮の量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	②の量と⑩の量を 合計したもの(自動 計算)
402	402						
10,638	10,638						
7	7						
125	125						
791	791						
4,092	4,092						
16,055	16,055						

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

# 今 年 度 【令 和 5 年 度】 目 標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市港区三先1丁目11番18号	奥村組土木興業株式会社	安全環境部 安全課	奥村 安勝	06(6572)5261	06(6575)0752	yamakatsu.o@okumurabdk.co.jp

(接及び自ら処理した後の委託量(t)) (①=②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬)	委託先による区分			④の他の中間処理委託量(t)	⑤優良認定処理業者への処理委託量(t)	②+③自ら再生利用を行った量(t)	③+⑤自ら埋立処分又は堆積投入処分を行った量(t)
	②再生利用業者への処理委託量(t)	③熱回収認定業者への処理委託量(t)	④熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)				
前処理及び最終処理した量	前の量のうち、処理業者への再生利用委託量 (②)、(付録C)	前の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	前の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	他の量のうち、委託して破碎等の中間処理した量(①～⑩を除く)	前の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	前の量と②の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑤の量を合計したもの(自動計算)
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
200.00	200.00					0.00	0.00
8,000.00	8,000.00					0.00	0.00
5.00	5.00					0.00	0.00
50.00	50.00					0.00	0.00
500.00	500.00					0.00	0.00
2,000.00	2,000.00					0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
						0.00	0.00
10,755.00	10,755.00					0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

# 況報告書の〔別紙〕

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪市港区三先1丁目11番18号	奥村組木興業株式会社	安全環境部	奥村 安勝	06(6572)5261	06(6575)0752	yaokatakuo@okumura-dbk.co.jp

会員登録情報	( ⑪= ②+③+④+⑤+⑥+⑦ = ⑫+⑬+⑭+⑮+⑯ )					②+⑩ 自ら再生利用を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海上投棄を行った量(t)
	委託先による区分						
自己処理した後の 処理委託量(t)	⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	②+⑩ 自ら再生利用を行った量(t)	③+⑨ 自ら埋立処分又は海上投棄を行った量(t)
中間処理及び最終処分 を委託した量	⑯の量のうち、認定熱回収施設設置業者である処理業者への焼却処理委託量	⑰の量のうち、認定熱回収施設設置業者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑱の量のうち、委託して破碎等の中間処理した量 (⑯～⑯を除く)	⑲の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑳の量のうち、概良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑩の量を合計したもの(自動計算)	③の量と⑨の量を合計したもの(自動計算)
2.00	2.00						
1,100.00	1,100.00						
598.00	598.00						
535.00	535.00						
49.00	49.00						
2,284.00	2,284.00						

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力とともに、第2面も追加してください。

施 狹 宋 画 計 理 奶 物 糖 麻 業 產